



## 平成31年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年10月10日

上場会社名 株式会社スタジオアタオ 上場取引所 東  
 コード番号 3550 URL http://www.atao.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀬尾 訓弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部 (氏名) 山口 敬之 TEL 03-6226-2772  
 ゼネラルマネージャー  
 四半期報告書提出予定日 平成30年10月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績（平成30年3月1日～平成30年8月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	2,297	26.0	554	39.8	557	40.3	386	40.9
30年2月期第2四半期	1,823	23.3	396	20.5	397	21.5	274	28.9

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 386百万円 (40.9%) 30年2月期第2四半期 274百万円 (28.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	61.85	60.01
30年2月期第2四半期	43.91	42.61

(注) 当社は、平成29年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	2,534	1,748	69.0
30年2月期	1,819	1,362	74.8

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 1,748百万円 30年2月期 1,362百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年2月期	—	0.00	—	—	—
31年2月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成31年2月期の連結業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,850	11.9	600	8.6	600	8.5	415	15.6	66.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無  
 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
     ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
     ② ①以外の会計方針の変更：無  
     ③ 会計上の見積りの変更：無  
     ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年2月期2Q	6,252,000株	30年2月期	6,252,000株
② 期末自己株式数	31年2月期2Q	47株	30年2月期	47株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年2月期2Q	6,251,953株	30年2月期2Q	6,252,000株

（注）当社は、平成29年9月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算説明会資料はT D n e t 及び当社ウェブサイトで同日開示しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行の各種施策の推進により企業収益や雇用環境の改善が見られる等、緩やかな回復基調の動きが見られた一方、中国やアジア新興国経済の減速リスク、米国政権による政策動向等、世界経済の不確実性が増す中、景気の先行については不透明な状況が続いております。当社グループの主要な関連業界である百貨店を含む小売業界におきましても、個人消費が物価上昇への懸念等により低下が継続する厳しい状況となっております。

このような環境の中、当社グループは、「ファッションにエンタテインメントを」を理念とし、オリジナルバッグ・財布等の提供を通じて「お客様に非日常のワクワク感を提供すること」を目指し、引続きインターネット販売や既存店の強化を行っております。また、オンラインショップと店舗の一層の連携を図るべく、引続き販売促進費の増額、SNS活動の強化、自社ブランドのポータルブログを活用したO2O戦略の強化、既存顧客向けのポイントアプリの充実等を行った結果、インターネット販売が1,316,123千円(前年同四半期比22.1%増)、店舗販売が897,232千円(同38.8%増)となり、好調に推移しました。また、人材強化のため、新卒採用活動としてインターネットの募集を開始しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,297,415千円(前年同四半期比26.0%増)、営業利益554,994千円(同39.8%増)、経常利益557,472千円(同40.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益386,692千円(同40.9%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産については、総資産2,534,415千円であり、前連結会計年度末と比較して714,722千円増加しております。主な増加要因は、現金及び預金が624,161千円、売掛金が151,466千円増加したことです。

負債につきましては、負債合計785,702千円であり、前連結会計年度末と比較して328,029千円増加しております。主な増加要因は、借入金が248,106千円増加したことです。

純資産は1,748,713千円であり、前連結会計年度末と比較して386,692千円増加しております。増加要因は、利益剰余金が386,692千円増加したことです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、1,436,401千円となり、前連結会計年度末より624,161千円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは387,756千円(前年同四半期比371,524千円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益557,472千円による資金の増加、売上債権の増加額151,466千円及び法人税等の支払額94,745千円による資金の減少によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは11,701千円(前年同四半期比13,152千円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出9,826千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られたキャッシュ・フローは248,106千円(前年同四半期は11,622千円の使用)となりました。これは、長期借入れによる収入300,000千円及び長期借入金の返済による支出51,894千円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成30年4月11日に公表いたしました業績予想から変更点はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	812,239	1,436,401
売掛金	322,255	473,722
商品	455,924	381,445
その他	35,153	53,934
流動資産合計	1,625,574	2,345,503
固定資産		
有形固定資産	97,326	91,515
無形固定資産	12,453	17,436
投資その他の資産	84,339	79,960
固定資産合計	194,119	188,912
資産合計	1,819,693	2,534,415
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	44,164	46,451
1年内返済予定の長期借入金	21,667	116,959
未払法人税等	101,315	185,042
ポイント引当金	7,288	12,683
その他	199,592	190,191
流動負債合計	374,027	551,328
固定負債		
長期借入金	54,657	207,471
退職給付に係る負債	7,695	8,582
資産除去債務	21,292	18,320
固定負債合計	83,645	234,373
負債合計	457,672	785,702
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	127,079	127,079
資本剰余金	117,079	117,079
利益剰余金	1,117,967	1,504,660
自己株式	△105	△105
株主資本合計	1,362,020	1,748,713
純資産合計	1,362,020	1,748,713
負債純資産合計	1,819,693	2,534,415

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
売上高	1,823,213	2,297,415
売上原価	682,437	862,666
売上総利益	1,140,775	1,434,748
販売費及び一般管理費		
販売促進費	222,018	287,189
ポイント引当金繰入額	—	5,395
支払手数料	144,909	180,937
その他	376,881	406,231
販売費及び一般管理費合計	743,809	879,753
営業利益	396,966	554,994
営業外収益		
受取家賃	688	480
保険解約返戻金	—	2,408
その他	53	95
営業外収益合計	742	2,984
営業外費用		
支払利息	278	505
営業外費用合計	278	505
経常利益	397,430	557,472
税金等調整前四半期純利益	397,430	557,472
法人税、住民税及び事業税	123,316	174,632
法人税等調整額	△383	△3,852
法人税等合計	122,932	170,780
四半期純利益	274,498	386,692
親会社株主に帰属する四半期純利益	274,498	386,692

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益	274,498	386,692
四半期包括利益	274,498	386,692
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	274,498	386,692
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	397,430	557,472
減価償却費	10,651	23,544
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,790	886
ポイント引当金の増減額(△は減少)	—	5,395
支払利息	278	505
売上債権の増減額(△は増加)	△109,057	△151,466
たな卸資産の増減額(△は増加)	△107,896	74,479
仕入債務の増減額(△は減少)	△55,968	2,287
未払金の増減額(△は減少)	△12,245	8,485
その他の資産の増減額(△は増加)	△8,290	△14,841
その他の負債の増減額(△は減少)	1,372	△20,955
その他	△497	△2,793
小計	117,566	483,000
利息及び配当金の受取額	4	7
利息の支払額	△278	△505
法人税等の支払額	△101,695	△94,745
法人税等の還付額	635	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,232	387,756
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△18,591	△9,826
無形固定資産の取得による支出	△483	△6,826
差入保証金の差入による支出	△3,635	—
その他	△2,143	4,951
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,853	△11,701
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△11,622	△51,894
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,622	248,106
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△20,242	624,161
現金及び現金同等物の期首残高	698,854	812,239
現金及び現金同等物の四半期末残高	678,611	1,436,401



(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、ファッションブランドビジネス事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。